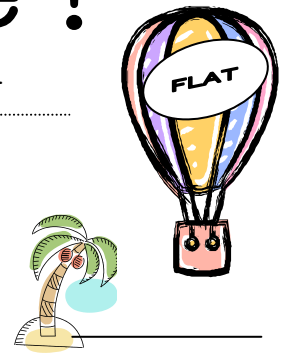


ふらっと.come!

平成 22 年 7 月 1 日 第 15 号

発行者 船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」
〒273-0011 船橋市湊町 2-1-5 MIIビル 101R
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776
HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>
Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



障害福祉課長補佐 新任のご挨拶

【船橋市 障害福祉課 課長補佐 大竹陽一郎】

はじめまして。今年4月から障害福祉課の課長補佐となりました大竹陽一郎と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。昭和61年に船橋市役所に入り20数年経ちますが、障害福祉施策を所管する課への異動は初めてです。今は日常業務に追われながらも勉強中の身でございます。

1日も早く船橋市の障害福祉施策を語れるように努力していきたいと思っておりますので、皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

私事ではございますが、障害福祉課に異動する前は、行政管理課法規係にいました。そこでは障害者自立支援法の施行時に障害福祉課の条例・規則の制定や改正に携わり、側面から障害福祉課の仕事に触れる機会がありました。

当時の障害福祉課の多忙さははっきり覚えています。市の職員も手探り状態だったのですから、事業者の方はもちろんのこと、障害の方が一番不安というか混乱されたのではないのでしょうか。制度に翻弄された数年間であります。行政サービスの多くは、それを利用される方にとっては始まりがあって終わりがあります。しかし障害福祉サービスは、利用される方にとっては終わりが無い場合がほとんどかと思われまます。そこには本来中・長期的に視点が求められるのではないのでしょうか。障害者自立支援法は廃止され新たな法制度が予定されておりますが、真に必要とされるサービスは何かを、皆様のお知恵をお借りしながら模索し、事業化に向けてすすめていきたい、そう考えております。今後とも、市の福祉行政へのご理解ご協力をお願いいたします。



地域で暮らすこと

【船橋市 障害福祉課 精神保健福祉士 久芳実佐】

私は、船橋市障害福祉課で地域自立支援協議会を担当しています。地域自立支援協議会は、障害者の地域生活を考え、議論する場です。今までは、高齢者福祉、精神科クリニックで利用者個人の相談・支援を中心にやってきました。この協議会を担当するようになってから、今は“地域”という視点から障害福祉に携わっています。

地域には、様々な社会資源を有機的に活用して、障害のある方が地域で暮らすことができる、仕組みが必要です。この仕組みには、社会資源を調整する機能、コーディネート力、ネットワークの構築などが含まれていると思います。障害のある方が地域で暮らし、生活ができる。この仕組みを地域にどのように作っていくかという役割を、地域自立支援協議会は担っていると思います。

私は昨年9月から、産休・育休期間を経て、今年4月から職場に復帰しました。職場復帰できたことは、会社や家族の理解、保育園という強い味方ができたことなどが挙げられます。支えられていることに感謝し、私自身、地域の社会資源、力を借りて、今、地域で暮らしていることを実感しています。

お帰りなさい!

船橋福祉相談協議会定期総会のご報告

去る5月11日(火)の午後6時より船橋市役所本庁舎 903 会議室において定期総会を行いました。(参加者9名、委任状3名で成立)来賓とし市行政より3名出席。

議事としては、平成21年度事業報告・決算報告、監査報告、苦情解決のしくみ等、出席者のご承認を頂き議事全てにおいて無事に終了いたしました。

簡単ではありますが、相談総件数(21年度)24,545件、実人数989名(内新規188名)関係機関等との調整会議は70回といった数字のご報告になります。

協議会としての事業としては11月7日に高根台公民館にて「地域の中に暮らしをつくる」と題しましたシンポジウムの開催等。

予算執行に関しても監査人による事前審査において確認頂きました旨、報告をさせて頂きました。

相談の件数よりその質を意識した取り組みが重要。

船橋市中央公民館との共同企画

「人間関係講座 心のセミナー」開催!!

日 時	内 容	講 師
6月26日(土曜) AM10:00~11:45	・心スッキリ講座 ~効果的なストレス対処法を 見つけよう!~	ふらっと船橋 相談員
7月 3日(土曜) AM10:00~11:45	・日常生活の中で気付けそうな 身体の不調と対処	ふらっと船橋 相談員
7月10日(土曜) AM10:00~11:45	・家庭内のストレス ~育児と介護について~	保健所職員
7月17日(土曜) AM10:00~11:45	・地域社会での支え合い 関わり合い	中核地域生活支援センター 「がじゅまる」 センター長 朝比奈 ミカ

※ 定員30名の受講申し込みは既に終了しています。

地域での関係性(顔がわかる人付き合い)

4年に一度のW杯開催に、毎夜深夜まで各国代表チームの熱戦をTV観戦しながらそのレベルの違いに感嘆をあげています。日本代表も4大会連続出場を果たし頑張りましたね!私も地元地域の少年サッカーチームに関わらせて頂きながらサッカーを通して子供たちやその家族とのコミュニケーションを図っています。子供たちは他国の有名選手に憧れ、夢を持ちながら練習を頑張っています。地域でのサッカー活動を通して「仲間を思いやる気持ち、コミュニケーションづくり、努力する気持ち」など、人間関係を養うためのお手伝いをしながら地元小・中学校とも顔が分るお付き合いをさせて頂きながら、些細な事からでも話し合いを・・・

By 清水 (D級コーチライセンス+3級審判員)



2010南アW杯!
さて!優勝国はどこでしょう?